

番号	32-1		
専門教育科目	共通科目	森林機械	
授業名	林業機械学	対象学年： 1学年	単位数： 2単位 講義形態： 講義
講義時期	通年	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	<p>下澤 幸典 (県職員での業務経験を生かし、林業機械操作に必要な知識・技術を身に 着けられるように指導します。)</p> <p>百瀬 浩行 (県職員での業務経験を生かした基礎及び実践までの実務教育を行います。)</p>		
授業の 達成目標	チェーンソー及び刈払い機について安全動作の確保と正確な操作技術を習得する。		
概要	チェーンソー・刈払機の構造及び操作方法について学ぶと共に、チェーンソー作業従事者特別教育及び刈払機取扱作業安全教育を修了させる。		
テキスト	「はじめて林業に携わる者のための安全な作業の基本」林業・木材製造業労働災害防止協会 「改訂2版 伐木等作業用チェーンソー作業の安全ナビ」 // 「安全な刈払機作業のポイント」 //		
参考書			
事前事後 の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習してくるべき内容を示します。 事後学習については、各時間の講義内容を復習するものとします。		
成績評価 の基準	評定については次の評価基準を基本としています。 秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している (評点が95点以上で特に優秀な者) 優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある (評点が80点以上95点未満の者) 良：授業の達成目標の水準よりやや上にある (評点が70点以上80点未満の者) 可：授業の達成目標の水準にある (評点が60点以上70点未満の者) 不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある (評点が60点未満の者)		
成績評価 の方法	原則として筆記試験及び履修態度による評価とする。試験成績の評定は100点法をもって行い、60点未満を不合格とする。 試験の成績が60点に達しないときは、原則として1回に限り追試験を認めます。		
メッセージ	林業機械を安全に操作できるような知識を習得しましょう。		
展開	講義名	講義内容	
1	はじめに	・はじめて林業に携わるにあたって	
2~4	チェーンソー作業従事者特別教育 ・伐木等作業に関する知識	・伐倒の方法 ・伐倒の合図 ・退避の方法 ・かかり木の種類及びその処理 ・造材の方法 ・下肢の切創防止用保護衣の着用	
5~7	チェーンソー作業従事者特別教育 ・チェーンソーに関する知識 (一部トップガン研修で実施)	・チェーンソーの種類 ・構造及び取扱い方法 ・チェーンソーの点検及び整備方法 ・チェーンソーの目立ての方法	
8・9	チェーンソー作業従事者特別教育 ・振動障害及びその予防に関する知識 ・関係法令	・振動障害の原因及び症状 ・振動障害の予防措置 ・法令及び安衛則中の関係条項	
10	採材の方法	・取扱い及び作業実習	
11~13	刈払機取扱作業安全教育	・刈払機に関する知識 ・刈払機を使用する作業に関する知識 ・振動障害及びその予防に関する知識 ・関係法令	
14	刈払機取扱作業安全教育	・刈払機の点検及び整備に関する知識	
15	試験		

番号	32-2		
専門教育科目	共通科目	森林機械	
授業名	林業機械学 実習1	対象学年： 1学年	単位数： 3 1/3単位 講義形態： 実習
講義時期	通 年	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	下澤 幸典 (県職員での業務経験を生かし、林業機械操作に必要な知識・技術を身に 着けられるように指導します。) 百瀬 浩行 (県職員での業務経験を生かした基礎及び実践までの実務教育を行います。) 講習機関職員		
授業の 達成目標	林業機械による作業を、能率的かつ安全に行うために必要な知識と技術を習得する		
概 要	刈払機、チェーンソーの構造、メンテナンス及び操作方法について学ぶ		
テキスト	「はじめて林業に携わる者のための安全な作業の基本」 林業・木材製造業労働災害防止協会 「改訂2版 伐木等作業用チェーンソー作業の安全ナビ」 // 「安全な刈払機作業のポイント」 // 「小型移動式クレーン運転者教本」、「玉掛け作業教本」 (一社)全国登録教習機関協会		
参 考 書			
事前事後 の 学 習	実習に備え十分な事前準備を行うこと。		
成績評価 の 基 準	評価については次の評価基準を基本としています。 秀 : 授業の達成目標の水準から見て卓越している (評点が95点以上で特に優秀な者) 優 : 授業の達成目標の水準よりかなり上にある (評点が80点以上95点未満の者) 良 : 授業の達成目標の水準よりやや上にある (評点が70点以上80点未満の者) 可 : 授業の達成目標の水準にある (評点が60点以上70点未満の者) 不可 : 授業の達成目標の水準よりやや下にある (評点が60点未満の者)		
成績評価 の 方 法	実技試験 50%、履修態度 40%、出席時間(態度良に限る) 10%		
メッセージ	林業機械を安全に操作できるような知識・技能を習得する。		
展 開	講義名	講義内容	
1~3	チェーンソー作業従事者特別教育 ・チェーンソーの点検及び整備	・チェーンソーの点検及び整備の方法 ・チェーンソーの目立ての方法	
4・5	チェーンソー作業従事者特別教育 ・チェーンソーの操作	・基本操作 ・応用操作	
6・7	有識者から学ぶトップガン講習①	・チェーンソーの点検及び整備、目立ての方法を有識者から学ぶトップガン講習	
8~11	チェーンソー作業従事者特別教育 ・伐木等の方法	・伐木の方法 ・かかり木の処理方法 ・造材の方法 ・下肢の切創防止用保護衣の着用	
12~21	チェーンソー作業・刈払機作業実習	チェーンソーの安全操作・正確な伐倒技術、及び刈払機の安全操作技術を取得する	
22~30	有識者から学ぶトップガン講習②	チェーンソーの安全操作・正確な伐倒技術を最高レベルの技術者から学ぶトップガン講習・実技レベル確認	
31~50	免許取得	小型移動式クレーン技能講習、玉掛け技能講習	

番号	32-3		
専門教育科目	共通科目	森林機械	
授業名	林業機械学 実習2-①	対象学年： 2学年	単位数： 2 4/5単位 講義形態： 実習
講義時期	通 年	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	百瀬 浩行 (県職員での業務経験を生かした基礎及び実践までの実務教育を行います。) 担当指導員		
授業の達成目標	伐木・造材作業に関する知識・作業方法及び安全かつ能率的に行うための必要な知識・技術及び関係資格を習得する。		
概要	伐木・造材作業で木材生産現場で使用する機械についての操作方法及び安全作業を学ぶ。		
テキスト	「改訂2版伐木等作業用チェーンソー作業の安全ナビ」 林業・木材製造業労働災害防止協会他独自教材		
参考書			
事前事後の学習	実習に備え十分な事前準備を行うこと。		
成績評価の基準	<p>評定については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している (評点が95点以上で特に優秀な者)</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある (評点が80点以上95点未満の者)</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある (評点が70点以上80点未満の者)</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある (評点が60点以上70点未満の者)</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある (評点が60点未満の者)</p>		
成績評価の方法	1) 報告書(レポート)、2) 履修態度、3) 修習得度：60%、出席時間(態度良に限る)：40%とし、試験成績の評定は100点法をもって行い、60点未満を不合格とする。		
メッセージ	林業機械を安全に操作できるような知識を習得する。		
展 開	講義名	講義内容	
1~4	高性能林業機械の基礎知識と作業システム	高性能林業機械の基礎知識と間伐等の作業システムを学ぶ	
5~8	チェーンソー安全動作の取得と正確なチェーンソー技術について学ぶ	日本有数の技術者からのトップガン講習及び最新装置を活用して、より安全動作と正確なチェーンソー技術を学ぶ	
9~12	高性能林業機械操作実習	伐木等機械(プロセッサ等)、走行集材機械(フォワーダ等)、簡易・架線集材装置(タワーヤーダ・架線集材器等)等について現場での操作実習	
13~42	伐木・造材作業を現地にて総合的に実施し、安全に配慮した実践的な技術を習得する	現地にて、伐木造材作業に関する一連の安全確認、基本動作及び禁止事項の確認、危険回避等技術・技能の習得、機械・道具・手工具等の取扱いや整備等を実習する	

番号	32-4		
専門教育科目	共通科目	森林機械	
授業名	林業機械学 実習2-②	対象学年： 2学年	単位数： 4 2/3単位 講義形態： 実習
講義時期	通年（集中）	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	巾下 正一 （林材業労災防止協会指導員の経験を生かし、高性能林業機械操作に必要な知識・技術を身に付けられるように指導します。） 担当指導員		
授業の達成目標	高性能林業機械等の知識・操作方法及び作業システムを習得、能率的かつ安全に作業を行うために必要な知識・技術を習得し、関係資格を取得する。		
概要	木材生産現場で使用する高性能林業機械についての操作方法及び作業システムを学ぶ。		
テキスト	「車両系林業機械安全マニュアル」 林業・木材製造業労働災害防止協会 「車両系建設機械運転者教本（整地・運搬・積込み用及び掘削用）」（一社）全国登録教習機関協会 「不整地運搬車運転者教本」 建設業労働災害防止協会 「フォークリフト運転者教本」（一社）全国登録教習機関協会		
参考書			
事前事後の学習	実習に備え十分な事前準備を行うこと。		
成績評価の基準	評価については次の評価基準を基本としています。 秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している（評点が95点以上で特に優秀な者） 優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある（評点が80点以上95点未満の者） 良：授業の達成目標の水準よりやや上にある（評点が70点以上80点未満の者） 可：授業の達成目標の水準にある（評点が60点以上70点未満の者） 不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある（評点が60点未満の者）		
成績評価の方法	規定時間の受講及び資格取得で評価する。		
メッセージ			
展開	講義名	講義内容	
1～10	免許取得 （高性能林業機械操作講習）	<input type="checkbox"/> 伐木等機械（プロセッサ等）の運転業務 <input type="checkbox"/> 走行集材機械（フォワーダ等）の運転業務 <input type="checkbox"/> 簡易架線集材装置（タワーヤダ等）の運転業務に係る特別教育（講習）	
11～22	免許取得 （高性能林業機械操作実習）	<input type="checkbox"/> 伐木等機械（プロセッサ等）の運転業務 <input type="checkbox"/> 走行集材機械（フォワーダ等）の運転業務 <input type="checkbox"/> 簡易架線集材装置（タワーヤダ等）の運転業務に係る特別教育（実習）	
23～42	免許取得	車両系建設機械運転技能講習	
43～50	免許取得	不整地運搬車運転技能講習	
51～70	免許取得	<input type="checkbox"/> フォークリフト運転技能講習 <input type="checkbox"/> はい作業従事者安全衛生教育	

番号	33		
専門教育科目	共通科目	森林機械	
授業名	林業架線学1	対象学年： 1学年	単位数： 2単位 講義形態： 講義
講義時期	通 年	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	<p>林業総合センター指導部 担当職員 (県職員としての勤務の経験を生かした基礎及び実践までの実務教育を行います。) 巾下 正一 (林材業労災防止協会指導員の経験を生かし、林業架線作業主任者に必要なスキルを身に 着けられるように指導します。)</p>		
授業の達成目標	厚生労働省労働基準局長が定める機械集材装置特別教育の修了並びに、林業架線作業主任者免許を取得するための知識を習得する。		
概要	林業架線作業に必要な学科		
テキスト	「林業架線作業主任者テキスト」「集材機運転者安全必携」 林業・木材製造業労災防止協会 発行		
参考書			
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習して行くべき内容を示します。事後学習については、各時間の講義内容を復習するものとします		
成績評価の基準	<p>評定については次の評価基準を基本としています。</p> 秀 : 授業の達成目標の水準から見て卓越している (評点が95点以上で特に優秀な者) 優 : 授業の達成目標の水準よりかなり上にある (評点が80点以上95点未満の者) 良 : 授業の達成目標の水準よりやや上にある (評点が70点以上80点未満の者) 可 : 授業の達成目標の水準にある (評点が60点以上70点未満の者) 不可 : 授業の達成目標の水準よりやや下にある (評点が60点未満の者)		
成績評価の方法	試験成績の評定は筆記試験により各科目100点法をもって行い、各科目の得点が40点以上であって、かつ全科目の平均得点が60点以上を合格とする。		
メッセージ	林業の現場において、「機械集材装置特別教育」、「林業架線作業主任者免許」は重要かつ有益な資格ですので頑張って取得しましょう。		
展 開	講義名	講義内容	
1	機械集材装置および運材索道に関する知識	1) 機械集材装置の集材機、搬器、支柱及び附属器具 2) 機械集材装置の索張り方式 3) 運材索道の運材機、搬器、支柱および附属器具 4) 運材索道の種類 5) 鋼索	
2	林業架線作業に関する知識	1) 機械集材装置・運材索道の組立て、解体等の方法 2) 集材方法 3) 運材方法	
3	林業架線作業に必要な力学に関する知識	1) 力(つりあい、合成、分解およびモーメント) 2) 重量及び重心 3) 滑車 4) 速度および加速度 5) 荷重、応力、材料の強さおよび安全係数	
4	試験		
5	機械集材装置の運転業務に係る特別教育		

番号	(37-1)		
専門教育科目	共通科目	森林機械	
授業名	林業架線学	対象学年： 2 学年	単位数： 2単位 講義形態： 講義
講義時期	通 年	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	林業総合センター指導部 担当職員 (県職員としての勤務の経験を生かした基礎及び実践までの実務教育を行います。)		
授業の達成目標	厚生労働省労働基準局長が定める林業架線作業主任者免許を取得するための知識を習得する。		
概要	林業架線作業に必要な学科		
テキスト	「林業架線作業主任者テキスト」 林業・木材製造業労災防止協会		
参考書			
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習してくるべき内容を示します。 事後学習については、各時間の講義内容を復習するものとします		
成績評価の基準	<p>評定については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している (評点が95点以上で特に優秀な者)</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある (評点が80点以上95点未満の者)</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある (評点が70点以上80点未満の者)</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある (評点が60点以上70点未満の者)</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある (評点が60点未満の者)</p>		
成績評価の方法	試験成績の評定は筆記試験により各科目100点法をもって行い、各科目の得点が40点以上であって、かつ全科目の平均得点が60点以上を合格とする。		
メッセージ	林業の現場において、「林業架線作業主任者免許」は重要かつ有益な資格ですので頑張って取得しましょう。		
展開	講義名	講義内容	
1	機械集材装置および運材索道に関する知識	1) 機械集材装置の集材機、搬器、支柱及び附属器具 2) 機械集材装置の索張り方式 3) 運材索道の運材機、搬器、支柱および附属器具 4) 運材索道の種類 5) 鋼索 6) 最大張力の算定 7) 主索の検定	
2	林業架線作業に関する知識	1) 機械集材装置・運材索道の組立て、解体等の方法 2) 集材方法 3) 運材方法	
3	林業架線作業に必要な力学に関する知識	1) 力(つりあい、合成、分解およびモーメント) 2) 重量及び重心 3) 滑車 4) 速度および加速度 5) 荷重、応力、材料の強さおよび安全係数	
4	関係法令	労働安全衛生法(昭和47年法律第57号)、労働安全衛生法施行令(昭和47年政令第318号)及び労働安全衛生規則中の関係条項	
5	試験		

番号	(37-2)	
専門教育科目	共通科目	森林機械
授業名	林業架線学 実習	対象学年： 2学年 単位数： 2 4/15単位 講義形態： 実習
講義時期	通 年	実務経験教員による講義の有無： 有 備考：
担当講師	巾下 正一 (林材業労災防止協会指導員の経験を生かし、林業架線作業主任者に必要なスキルを身に 着けられるように指導します。)	
授業の 達成目標	厚生労働省労働基準局長が定める林業架線作業主任者免許を取得するための実技を習得 する。	
概 要	林業架線作業に必要な実技	
テキスト	「林業架線作業主任者テキスト」 林業・木材製造業労災防止協会	
参 考 書		
事前事後 の学 習	実習に備え十分な事前準備を行うこと。	
成績評価 の 基 準	<p>評定については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している (評点が95点以上で特に優秀な者)</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある (評点が80点以上95点未満の者)</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある (評点が70点以上80点未満の者)</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある (評点が60点以上70点未満の者)</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある (評点が60点未満の者)</p>	
成績評価 の 方 法	1)実技、2)レポート、3)実技試験、4)履修態度、の総合で100点法をもって評価しま す。	
メッセージ	林業の現場において、「林業架線作業主任者免許」は重要かつ有益な資格ですので頑 張って取得しましょう。	
展 開	講義名	講義内容
1	索張りおよび控えのとり方並びに 点検	1)索の張り方 2)控えのとり方 3)主索、えい索、作業索、控索、台付け索および 荷吊り索の点検
2	支柱、盤台等の作り方および点検	1)支柱の建て方および点検 2)アンカーのとり方および点検 3)盤台の作り方および点検
3	機械集材装置および運材索道の主 要機器の据付方法及び点検	1)集材機のすえ付け方法および点検 2)運材機のすえ付け方法および点検 3)制動機のすえ付け方法および点検 4)搬器の点検 5)附属器具の点検
4	主索の安全係数の点検	1)主索の緊張度の検定 2)主索の張力の検定
5	鋼索の止め方および継ぎ方	1)鋼索の止め方 2)鋼索の継ぎ方 3)鋼索の種類および取扱い
6	重量目測	重量目測
7	荷かけおよび荷はずし	1)荷かけの方法 2)荷はずしの方法 3)合図 4)危険区域
8	運転実習	運転操作

番号	34		
専門教育科目	共通科目	林産	
授業名	木材学 I	対象学年： 1 学年	単位数： 4単位 講義形態： 講義
講義時期	後 期	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	橋爪 丈夫、柴田 直明、吉田 孝久 (元林業総合センター木材部職員の経験を生かした基礎及び実践までの実務教育を行います。) 林業総合センター木材部 職員 (県試験研究機関勤務の経験を生かした基礎及び実践までの実務教育を行います)		
授業の達成目標	一般的な木材加工技術のみならず、さまざまな新しい木製品開発に関われる技術を身につける		
概要	木材の加工機械、加工方法、利用方法などについて学ぶ		
テキスト	林産物利用 (農業722)		
参考書	その都度、講師が必要に応じて紹介します。		
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習してきてべき内容を示します。 事後学習については、各時間の講義内容を復習するものとします。		
成績評価の基準	<p>評定については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している (評点が95点以上で特に優秀な者)</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある (評点が80点以上95点未満の者)</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある (評点が70点以上80点未満の者)</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある (評点が60点以上70点未満の者)</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある (評点が60点未満の者)</p>		
成績評価の方法	原則としてレポート及び履修態度による評価とする。成績の評定は100点法をもって行い、60点未満を不合格とする。成績評定が60点に達しないときは、原則として1回に限り追試験を認める。		
メッセージ	木材の様々な加工方法を学ぶことで、木材利用の可能性に思いを巡らせる機会となり、創造力を持って未来の木材需要を生み出してください。		
展 開	講義名	講義内容	
1. 2	森林資源の循環利用と林業・林産業	循環資源としての木材、木造建築物と循環、木材加工業の現状と課題、木質バイオマス	
3-6	木材の構造	木材の肉眼的構造、顕微鏡的構造	
7-10	木材の性質	木材の物理的性質、機械的性質、化学的性質	
11	木材の用途	木材の特性と用途、様々な利用	
12-14	校外研修		
15	試験		
16. 17	製材と木材加工	製材機械と製材作業、加工機械と工作	
18-20	木材の乾燥	乾燥に伴う形質変化、木材乾燥の方法	
21. 22	木材の保存	防腐、防虫、防火	
23-26	改良木材	合板、集成材、木質ボード類	
27. 28	木材の化学加工	化学修飾、複合材料等、接着剤と接着法、木材パルプ等	
29	木造建築	在来軸組構法の構造と部材名、設計の概略、他の木質構法	
30	試験		

番号	(39-2)		
専門教育科目	共通科目	林産	
授業名	木材加工学 実習	対象学年： 2 学年	単位数： 1 単位 講義形態： 実習
講義時期	通年（集中）	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	山内 仁人 (県試験研究機関勤務の経験を生かした基礎及び実践までの実務教育を行います。)		
授業の達成目標	木材の性質および木材加工技術の概要について、実習を通じて理解する		
概要	木材の加工には木材の性質が反映されるので、講義で学んだ知識を木材加工へ活かす。		
テキスト	担当教職員作成プリントほか		
参考書			
事前事後の学習	実習に備え十分な事前準備を行うこと。また、実習後にはレポートを作成してください。		
成績評価の基準	<p>評定については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している（評点が95点以上で特に優秀な者） 優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある（評点が80点以上95点未満の者） 良：授業の達成目標の水準よりやや上にある（評点が70点以上80点未満の者） 可：授業の達成目標の水準にある（評点が60点以上70点未満の者） 不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある（評点が60点未満の者）</p>		
成績評価の方法	1)実技、2)成果品、3)報告書等、4)履修態度の修習得度60%、出席時間(態度良に限る)40%		
メッセージ	作業の安全性を重視するとともに、どのようにすれば「効率よく、精度の高い仕事ができるのか」という”知恵”を涵養する。知識と知恵の両立を図る。		
展開	講義名	講義内容	
1	プランニング	1)アイディアスケッチ、図化と木拾い 2)木材加工からみた木材の性質	
2	集成材の作成	1)ラミナ仕上げ(モルダーがけ) 2)接着材塗布 3)プレス加工 4)板に製材	
3	木材加工	1)切削加工 2)接着加工 3)接合と組立 4)作業の安全性 5)作業の精度と効率性	
4	木材加工工場見学		

番号	36-1				
専門教育科目	共通科目	林産	15コマ		
授業名	特用林産学	対象学年： 1学年	単位数： 2単位	講義形態：	講義
講義時期	通 年	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：		
担当講師	林業総合センター特産部 職員 (県試験研究機関勤務の経験を生かした基礎及び実践までの実務教育を行います。)				
授業の達成目標	①特用林産物全般の概要と主な品目の栽培法について知識を修得する。 ②きのこ栽培、山菜栽培、製炭等についての基礎知識を修得する。				
概要	特用林産物の定義、種類や需給の実態のほか、主な品目の栽培技術や菌類及び製炭の基礎を学ぶ。				
テキスト	「まつたけ増産のてびき（改訂IV版）」長野県特用林産振興会、担当教職員作成資料				
参考書					
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習して行くべき内容を示します。事後学習については、各時間の講義内容を復習するものとします。				
成績評価の基準	<p>評定については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している（評点が95点以上で特に優秀な者） 優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある（評点が80点以上95点未満の者） 良：授業の達成目標の水準よりやや上にある（評点が70点以上80点未満の者） 可：授業の達成目標の水準にある（評点が60点以上70点未満の者） 不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある（評点が60点未満の者）</p>				
成績評価の方法	原則として筆記試験及び履修態度による評価とする。試験成績の評定は100点法をもって行い、60点未満を不合格とする。試験の成績が60点に達しないときは、原則として1回に限り追試験を認めます。				
メッセージ	特用林産物の多様な世界をご紹介しますとともに、栽培技術や製炭の基礎知識習得を目指します。				
展開	講義名	講義内容			
1	特用林産概論	1) 特用林産物の定義 2) 特用林産物の種類 3) 特用林産物の需給動向、統計単位			
2	菌類及びきのこ栽培の基礎	菌類におけるきのこの位置付け・きのこカビの違い			
3	きのこ菌床栽培技術	なめこ等主な菌床栽培技術			
4	きのこ原木栽培技術	しいたけ等主な原木栽培技術			
5	きのこ林地栽培技術	まつたけ発生の基礎と環境整備			
6	山菜・特用樹栽培技術	1) 増殖技術の基礎知識 2) フラビ、クサソテツ等主な山菜の栽培技術 3) クリ等主な特用樹の栽培技術			
7	木炭等の特用林産物の特性と用途	1) 木炭の種類、需給動向 2) 炭化のしくみと木炭、木酢液の性質、用途 3) 精油等の性質と利用			
8	試験				

番号	37		
専門教育科目	共通科目	森林政策	
授業名	林政学	対象学年： 1学年	単位数： 2単位 講義形態： 講義
講義時期	全期	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	千村 広道 林業大学校長 森林総合監理士 三木 敦朗 信州大学農学部 助教		
授業の達成目標	森林・林業政策の歴史と現状、未来への課題を学び、説明できるようになる		
概要	授業の前半は、森林の働き、人との関わり、そして育成から利用までの森林・林業を総合的に学び、後半は「森林・林業白書」などに関連する講義を行います		
テキスト	「令和8年度長野県林務部業務概要」長野県林務部、講師作成資料 『森林・林業白書』林野庁編		
参考書			
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習してくるべき内容を示します。事後学習については、各時間の講義内容を復習するものとします。		
成績評価の基準	<p>評価については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している（評点が95点以上で特に優秀な者）</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある（評点が80点以上95点未満の者）</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある（評点が70点以上80点未満の者）</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある（評点が60点以上70点未満の者）</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある（評点が60点未満の者）</p>		
成績評価の方法	筆記試験および受講態度で評価し、100点中60点未満を不可とする。試験の成績が60点に達しないときは、原則として1回に限り追試験を認めます。		
メッセージ	これからの林業を担い、新しい森林活用方法を提案していくのはみなさんです。それを目指して、ともに学びましょう。		
展開	講義名	講義内容	
1	はじめに	林業の現状	
2～3	多様な森林・森林の役割	世界の森林、日本の森林 長野県の森林 木曾の森林、多面的機能	
4～5	林業の担い手	林業生産活動を支える人、組織の実態	
6～7	林業に関係する法律、税制度	森林・林業基本法 森林法、森林税に関する話題	
9～14	森林、林業現場の視察等	赤沢自然休養林、水木沢天然林、素材生産現場、木材流通現場など	
15	中間試験		
16～17	イントロダクション	森林政策の基礎用語、森林政策の歴史	
18～20	森林管理と山村	森林所有の変遷・山村社会と市民	
21～22	林業と林業労働	林業労働と林業機械、主伐・再造林化の課題	
23～24	森林管理と山村	木材の需要と供給の変化、特用林産物の利用	
25～26	国有林と災害からの復興	国有林の制度、災害と環境	
27～29	森林・林業に関わる時事問題の振り返り	講義 森林・林業をめぐる新しい動き、新しい森林・林業をめざしての考察	
30	試験		

番号	38		
専門教育科目	共通科目	森林政策	
授業名	森林施業プラン	対象学年： 1学年	単位数： 2単位 講義形態： 講義
講義時期	通年	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	千村 広道 (林業大学校校長 森林総合監理士)		
授業の達成目標	森林計画制度等の基本的な知識を学習するとともに、森林経営計画や森林施業プランを作成するための実践的な手法を修得する。		
概要	講義や現地研修、演習により基礎的・実践的な知識や手法を学ぶとともに、模擬的に森林施業プランや森林経営計画を作成・発表する。		
テキスト	森林施業プランナーテキスト(改訂版)、講師作成テキスト		
参考書			
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習してこべき内容を示します。事後学習については、各時間の講義内容を復習するものとします。		
成績評価の基準	<p>評価については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している (評点が95点以上で特に優秀な者)</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある (評点が80点以上95点未満の者)</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある (評点が70点以上80点未満の者)</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある (評点が60点以上70点未満の者)</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある (評点が60点未満の者)</p>		
成績評価の方法	筆記試験、研修レポート、森林施業プラン演習(成果品及び発表内容)及び受講態度の総合で100点法をもって評価する。		
メッセージ	森林計画制度等を理解し、森林施業プランの作成等を学ぶことは、提案型集約化施業を担う者(森林施業プランナー)だけでなく、森林・林業に関わる者にとって有用である。		
展開	講義名	講義内容	
1	森林計画制度の基礎	森林計画制度の歴史的変遷と意義、概要、森林経営計画制度の概要	
2	提案型集約化施業	提案型集約化施業の意義、進め方	
3~4	森林施業プランの基礎①	目標林型と林分診断、育林技術、路網管理	
5~6	森林施業プランの基礎②	作業システムと工程管理、原価管理、安全対策	
7~8	森林施業プランの基礎③	IT技術による森林情報の活用、合意形成	
9~10	提案型集約化施業事例	森林経営計画による施業地等での現地研修	
11~12	森林施業プランの作成	森林施業プラン(森林経営計画)作成演習	
13~14	森林施業プランの発表	森林施業プラン(森林経営計画)発表演習	
15	試験		